

歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議
令和元年度(第4回)フォローアップ調査まとめ(案)

令和2年3月 日
歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議

1. これまでの取組状況

- 大学の歯学教育の改善・充実に向け、専門的な事項について調査研究を行い、報告を取りまとめることを目的に、歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議（以下「協力者会議」という。）を立ち上げている。
- 協力者会議では、平成21年1月に「歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議第1次報告～確かな臨床能力を備えた歯科医師養成方策～」（以下「第1次報告」という。）をとりまとめ、以下について提言している。
 - ①歯科医師として必要な臨床能力の確保
 - ②優れた歯科医師を養成する体系的な歯学教育の実施
 - ③歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者の確保
 - ④未来の歯科医療を拓く研究者の養成
- また、平成26年2月には、あらためて[提言・要望]をとりまとめ、「平成26年度以降のフォローアップ調査の方向性」として、以下の内容で実施することとしている。
 - ①第1次報告の提言に対する取組状況のフォローアップ
 - ②上記①を踏まえた課題の指摘と改善の促進
 - ③各歯学部の特徴や強みをいかした優れた取組や成果（社会ニーズへの対応等）の把握
 - ④上記③の積極的な発信による、歯学教育に対する社会の御理解・信頼の確保、歯科医師の活躍の場の拡大に向けたPR
- これらを踏まえ、平成22年度と平成24年度、そして平成27年度の3度にわたり、フォローアップ調査結果をとりまとめ、各歯学部に対して問題点を指摘し、歯学教育の改善に向けた取組を促している。

【これまで取りまとめた報告等】

- ・平成23年 5月 第1次報告を踏まえたフォローアップ状況まとめ
- ・平成24年12月 第1次報告を踏まえた平成24年度フォローアップ調査まとめ
- ・平成24年12月 歯学教育の質向上のための施策の方向性
- ・平成26年 2月 提言・要望
- ・平成28年 3月 第1次報告を踏まえた第3回フォローアップ調査まとめ

| | |
|-----------------|--|
| <令和元年> | |
| 11月7日 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">第19回調査研究協力者会議</div> <ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ調査実施要領等の決定 ・書面調査内容等の決定 |
| 11月中旬 ～12月中旬 | <ul style="list-style-type: none"> ・各大学においてフォローアップ調査票等を作成 |
| <令和2年> | |
| 1月7日 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">第20回調査研究協力者会議</div> <ul style="list-style-type: none"> ・書面調査結果の確認 ・意見交換対象校等の決定 |
| 2月3日 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">第21回調査研究協力者会議</div> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換の実施 |
| 3月11日 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">第22回調査研究協力者会議</div> <ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ調査まとめ案の審議 |
| 3月末 | <ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ調査まとめの公表 |

- なお、意見交換は、書面調査結果から必要と判断した歯学部を対象に実施したものであり、意見交換の対象となった歯学部のみが直ちに問題があるということではない点に御留意いただきたい。

5. フォローアップ調査の結果

- 今回のフォローアップ調査の結果について、以下のとおりまとめた。

(1) 全体的な取組状況

各歯学部においては、平成28年3月の第3回フォローアップ調査まとめ以降、臨床実習終了時における到達目標の明確化、科目ごとの成績評価基準及び学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れ方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシーなどの各種基準・方針の策定・見直しをするとともに、共用試験CBT・OSCEの進級判定への利用、歯学教育全体を通じた体系的な教育課程の編成等に当たる専門教員の配置、成績不振者へのきめ細かな履修指導や学習支援を見直し、歯学教育の改善・充実を図っている。また、歯

科医療を取り巻く環境を踏まえて、地域社会から求められる歯学教育をそれぞれの歯学部において実施している。

一方、これまで指摘していた診療参加型臨床実習の充実及び入学定員（募集人員）の遵守・削減については、早急に適切な対応に努めていただくとともに、臨床能力の確保の観点から臨床実習前後における臨床能力評価の適切な実施及び、優れた入学者の確保の観点から入学者選抜試験の工夫等、より一層の対策に努めていただくことを強く望む。

（２）フォローアップ調査で見られた成果と課題

①診療参加型臨床実習の充実

平成29年3月に改訂された歯学教育モデル・コア・カリキュラムにおいて、臨床実習の内容には、見学から自験まで様々な水準があるが、卒業前に必要な技能・態度を習得するために「G臨床実習」の各項目について臨床実習を行うことが求められており、各歯学部において「G臨床実習」の別表として示されている「臨床実習の内容と分類」に記載された実習内容を参照し、診療参加型臨床実習を行うことが提示されている。各歯学部は、この歯学教育モデル・コア・カリキュラムに沿って臨床実習を実施しているものの、大学によって学生が経験する自験症例や症例数に大きな差が生じていたり、学生が一連の治療の流れを1人の患者で学ぶことができなかつたりする状況がある。なかには、模型実習を自験症例として取り扱う、さらには、患者に少しでも触れただけで自験症例として取り扱うなど、自験の定義を拡大解釈している歯学部もあった。一部の大学からは、地理的条件等を理由に臨床実習に協力する患者の確保が困難であることや学生の能力に合わせた実習内容により、自験ができていないことがあるという報告があったが、その他の歯学部では、臨床実習に協力する患者の承諾を得て学生自身が特定の患者を受け持ち、予診から処置、予後までのステップを踏んで自験を行うなど、臨床実習の充実に取り組んでいる。診療参加型臨床実習については、歯科医師としての資質向上を目的とした卒前教育の一環として、患者の同意の下で、指導医の指導・監督の下に行われることなど、適正な体制の下で行われるものであり、各診療科任せにするのではなく、歯学部又は大学全体で実施方法を検討しつつ、他の歯学部の取組等も参考にし、自験を求められている内容については、学生が自験を行うことを卒業の要件とするなど、積極的に実施するべきである。

【前回のフォローアップ調査まとめにおける主な指摘】

- ・ 診療参加型臨床実習について、全ての項目で学生が自験を行うことを卒業要件とするよう強く求める。各歯学部には、協力患者の確保に向けて、更に踏み込んだ取組を求める。学外の機関との連携により、学生が教員とともに高齢者医療の現場に赴く実地体験等を取り入れることを望む。
- ・ 学生に自験を行わせることについて、特定の患者を受け持つなど、各歯学部の一層の努力と工夫を求める。今後、FDの実施等を通じて、自験の定義をはじめ診療参加型臨床実習に対する認識を歯学部全体で共有することを強く求める。

②診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験等の実施

令和2年度から正式実施される臨床実習後客観的臨床能力試験（臨床実習終了時に身に付けておくべき臨床技能と態度の評価）について、25歯学部が令和2年度から導入予定、4歯学部が令和3年度以降に導入予定である。平成29年度から公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構（CATO）が実施主体となって全歯学部でトライアルを実施してきたところであり、令和3年度以降に導入予定である歯学部は、他歯学部に残れを取らないよう、その実現に向けて学内において迅速かつ確実に準備を進めて、学生に不利益を生じないよう取り組んでいくことを強く求める。

なお、診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験を令和2年度に導入しない理由が、当該大学の評価基準策定に解決すべき課題が残っている、令和2年度から実施しなくてもよいものと思っていたなど、歯科医師養成に対する大学としての主体性・責任感の欠如ととらえられても仕方がない歯学部も見受けられた。臨床実習後客観的臨床能力試験を令和3年度以降の導入を予定している歯学部の中には、臨床実習後の臨床能力評価を実施していない歯学部が、2歯学部あった。学生が歯科医師に求められる基本的な臨床能力を有していることを確認することは極めて重要であることから直ちに実施することを強く求める。

③留年・休学率

前回までのフォローアップ調査まとめにおいて、在籍者の25%以上の学生が留年していることや全歯学部における平成25年度から平成27年度の3年間の留年率が毎年20%を超えていることを指摘している。今回のフォローアップ調査においても、在籍者の25%以上の学生が留年している大学が8歯学部あり、全歯学部における平成29年度から令和元年度の留年率が毎年20%前後であり、改善されたとは言いがたい状況である。さらに、4歯学部では6年次においておよそ2人に1人が留年経験者であったが、その理由は、入学直後から欠席が目立つ学生がいることや歯科医師になる目的意識が低い学生が多いこと、また各学年で進級判定基準の見直しとその基準に到達するための教育が不十分であったことなどをあげている。「教学マネジメント指針」（令和2年1月中央教育審議会大学分科会）において、学習者本位の教育の観点から、一人一人の学生が自ら学修成果として身に付けた資質・能力を自覚できるようにすることが重要であると示されている。また、学修成果や教育成果を最大化するためには、教職員の能力向上が不可欠であるとされている。このため、各歯学部は、適正な入学者選抜試験の実施を通じて優秀な学生を確保した上で、成績評価基準の明示や個々の学力に応じた適切な教育指導及び短期集中学習やICT教材を活用した学習などの抜本的な改善を引き続き進めていくとともに、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学生本位の教育を提供するために必要な望ましい教職員像を定義した上で、対象者の役職や経験に応じた適切かつ最適なFD・SDを組織的かつ体系的に実施していく必要がある。一部の大学で取り組み始めているが、学生との定期的な面談と学生の履修状況の把握、今後の履修の方向性等を分析し、学生にフィードバックを適切に行うこと、さらに学生は自らの学修振り返り、高度化していくことにより、学生が最低修業年限で

卒業できるように努めなければならない。それでも、人の命や健康に関わる歯科医師として不適格であると考えられる者に対しては、進路変更を含む適切な指導を早期に行うべきである。

【前回のフォローアップ調査まとめにおける主な指摘】

- ・ 複数の歯学部では、在学者全体の3人に1人が留年経験者、学年別では6年次には2人に1人以上が留年経験者であるなど、改善が見られない。最低修業年限で卒業できるよう努めなければならないし、特に、人の命や健康に関わる歯科医師として不適格であると考えられる者に対しては、進路変更を含む適切な指導を早期に行うべきである。

④学生の進路

各歯学部は、将来の歯科医療を担う優れた歯科医師を養成し、社会に貢献できる歯科医師を輩出する使命がある。しかしながら、近年、入学者のうち、体調不良や一身上の都合、進路変更などの理由があるものの、歯科医師にならなかった学生の割合が高い歯学部や学生の進路状況の追跡を実施していない歯学部がある。体調不良や一身上の都合は仕方ないと判断するものの、学業不振や経済的理由が原因であれば、何らかの手立てはあったと考える。「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（平成30年11月中央教育審議会）においては、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）（以下「3つのポリシー」という）に基づく体系的で組織的な大学教育を展開し、その成果を与える課程（学位プログラム）共有の考え方や尺度にはかかって点検・評価を行うことで、不断の改善に取り組むこと、学生の学修成果に関する情報や大学全体の教育成果に関する情報を的確に把握・測定し、教育活動の見直し等に適切に活用することが必要とされ、適切なPDCAサイクルを確立することが求められている。このため、各歯学部においては、3つのポリシーに基づき、体系的かつ組織的な歯学教育を展開し、その成果の適切な点検・評価を行い、その上で教育改善に取り組むことが必要である。また、歯科医師よりも別の分野において活躍が考えられる学生については、早い段階において進路変更や他大学への編入など、適切な支援・指導を行うべきである。

⑤最低修業年限での歯科医師国家試験合格率

最低修業年限での歯科医師国家試験合格率について、平成27年の全歯学部の平均が48.9%であったが、平成31年は平均53.7%となっており、近年改善傾向にあるものの、依然として、過去3年間の合格率をみても、他の歯学部と比較しても歯科医師国家試験合格率が著しく低い（50%下回っている）大学が10歯学部あった。いくつかの歯学部においては、これまでも優れた学生を確保するために一般入試に総合評価を導入するなど入学者選抜試験の更なる工夫や、学生の学力向上を図るために学修評価の把握・分析とその結果をフィードバックし個別指導するなど教育指導の見直しに取り組んでいる。今後、各歯学部は、このような改革を進めていくとともに、3つのポリ

シーに基づき、自律的かつ体系的な歯学教育を展開し、その成果の適切な点検・評価を行い、その上で教育改善に取り組むことが必要である。特に、国家試験合格率が低い歯学部においては、学位プログラムの構築・運営に責任を担う学部長等や実際の運営に携わる教員等が、「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準（歯学分野）」（平成29年9月29日日本学術会議）等各種の情報を活用しながら、学修目標を達成でき、かつ点検・評価も可能な授業科目・教育課程を具体的に構築することが必要である。

【前回のフォローアップ調査まとめにおける主な指摘】

- ・ 歯科医師国家試験合格率については、全歯学部の平均で50%を下回っている。競争倍率の向上による優れた入学者の確保に一層努めるとともに、最低修業年限での国家試験合格率の改善につながるよう、診療参加型臨床実習や学外の歯科医療機関等との連携による地域医療実習をより一層充実させることが期待される。

⑥入学定員（募集人員）の超過・未充足

直近の令和元年度の入学定員（募集人員）充足状況は、10歯学部が100%を超過して学生を受け入れている。2年連続で超過しているのは7歯学部であった。平成27年度の状況（超過16歯学部、2年連続超過13歯学部）と比較すると前回の指摘を踏まえて、それぞれ歯学部において改善してきたと言えるが、未だ毎年度超過している歯学部は、課題として受け止めて、入学定員（募集人員）を遵守すべきである。

一方、令和元年度入学定員（募集人員）が大きく未充足となっている歯学部があり、18歳人口が今後ますます減少していくことを踏まえて、至急改善策を検討することが必要である。特に一部の歯学部においては、当年度の入学定員（募集人員）割れした分を次年度の入学者を多く受け入れることで学生数を確保していることが分かった。これは、大学として、そもそもの入学定員（募集人員）管理の考え方を改めるべきである。

また、編入学定員の適切な取扱については、これまでも指摘されてきたところであるが、未だに募集人員の未充足を単に解消するために、多くの編入学者を受け入れている歯学部が見受けられるので、本来の編入学定員の趣旨を再確認し、募集人員の内数として適切に設定することが必要である。

なお、入学者選抜競争倍率については、8歯学部において入学者選抜競争倍率が2倍に満たないなど、高い競争倍率の下での優れた入学者の確保を実現できていない状況であった。

【前回のフォローアップ調査まとめにおける主な指摘】

- ・ 入学定員（募集人員）を大幅に超過した入学者の受入れは、重大な問題であり、各歯学部は定員を遵守すべきである。未充足の歯学部は適切な入学定員（募集人員）の見直しが必要である。
- ・ 入学定員（募集人員）を厳守すべきであり、編入学定員については、過去の受入れ状況に応じて、募集人員の内数として適切に設定することを求める。
- ・ 入学者選抜競争倍率が2倍に満たないなど、高い競争倍率の下での優れた入学者の確保を実現できていない歯学部がある。

⑦入学定員（募集人員）の削減

各歯学部は、「今後における行政改革の具体化方策について」(S57.9閣議決定)や厚生省「将来の歯科医師需給に関する検討委員会」最終意見(S61.7)及び厚生省「歯科医師の需給に関する検討会」報告(H10.5)等を踏まえ、昭和61年以降、入学定員（募集人員）の削減に取り組んでいる。

令和元年度の入学定員（募集人員）は、昭和60年度の入学定員（募集人員）に比べ、26.9%削減しているが、削減率を設置者別に見ると、国立大学は34.7%、私立大学は24.5%、公立大学は20.8%と、大きな開きがある。また、「歯科医師の需給に関する検討会」報告が取りまとめられた平成10年度の入学定員（募集人員）に比べ、全体では9.0%の削減となっており、同報告に記載の削減目標「新規参入歯科医師数を10%程度抑制」には達していない。

これらの目標を達成していない歯学部には、これまでの入学定員（募集人員）の充足率等を踏まえて、例えば、学内における他の医療系分野を含めた全入学定員（募集人員）の見直しを学内全体で行うなど、歯学部の入学定員（募集人員）を削減するよう求める。

【前回のフォローアップ調査まとめにおける主な指摘】

- ・ 目標を達成していない歯学部には、入学定員（募集人員）を削減するよう求める。

(3) 特色ある優れた取組

①医科歯科連携等チーム医療や地域医療を意識した臨床実習の実施

- 5年次前期のクリニカルクラークシップⅠにおいて医科歯科連携協定を締結している特別養護老人ホームにて医科歯科連携実習（多職種連携実習）を実施しているとともに、5年次後期のクリニカルクラークシップⅡでは、同じく医科歯科連携協定を締結している市立病院の小児救急・小児総合医療センターの外来、NICU及び病棟での小児医療に特化した実習を実施している。
- 体系的な学部連携教育カリキュラムを全学年で構築しており、多職種間の相互理解と連携・協力をもとに、チーム医療を実施するシミュレーションとして構成された学部連携PBLチュートリアルや、患者中心のチーム医療を医療現場で実践する能力を身に付けるための附属病院・地域での臨床実習・学部連携実習を行っている。
- キャンパス内に老人保健施設と老人福祉施設を有するという特色を活かし、初年度から段階的に講義・実習を行うことで、早期に医療・福祉の現場を体験し、地域の保健・医療・介護・福祉との連携や、口腔ケア・歯科健診・歯科保健指導を実践する教育を実施している。
- 県こども総合療育センター、県立養護学校等における摂食嚥下障害児の相談会に学生を同行させる実習を実施している。

②死因究明や災害時など歯科医師として社会的に必要とされる役割に関する臨床実習の実施

- 臨床実習では、大学院医系科学研究科に設置している「死因究明教育研究センター」にて、2018年度のトライアルを経て2019年度からセンター教員の引率の下で施設見学及びサンプルケース（模型または写真等）を用いた歯科所見採取と照合（1例）を行なっている。目的は、歯科医師による身元確認や関連する死因究明等の制度を再確認するとともに死因究明や身元確認における歯科の役割を理解し歯科医師として必要とされる関連の基礎知識を習得することであり、レポートによる評価を実施している。
- 法医学講座を有しており、専門歯科学のなかで法医学、歯科法医学、医事法学に関する講義を実施するとともに、歯による年齢推定、大規模災害時の身元不明者の身元確認作業を想定した死体の口腔内所見と該当者の生前所見との照合、さらには血痕からの血液型判定など広く社会に貢献できる歯科医師の育成に役立つ実習を行っている。
- 12大学のコンソーシアムでの教育ツールの一つとして、相互利用可能な全国合同教材（急性期・在宅介護等に関わるDVD視聴教材）ライブラリーを構築し、「災害時の歯科の役割（東日本大震災）」という地域性、独自性の高い講義内容を作成した。日本全国合同教材ライブラリーは、歯学部学士課程の教育のために、積極的に利用している。

③ICTを活用した診療参加型臨床実習の効率化

- 3大学と歯科医師会が連携して、超高齢社会のニーズに対応できる歯科医師を養成することを目的にICTを活用した教育プログラムを開発し実施している。本プログラムは、eラーニングを活用した基礎知識の修得、VP（仮想患者）システムを活用したコミュニケーション並びに臨床推論能力の養成、電子ポートフォリオを活用した参加型臨床実習における実践から構成されており、必修科目として全学生に課している。
- 学生がエビデンスに基づく適切な医療について知識を蓄え、実践することができるようにPubmedやMindsなどの検索方法の実習を行い、その上で自分の担当症例について関連するエビデンスを学修する。さらに、それらの症例について引用したエビデンスと共に症例発表を行っている。

（4）今後の期待する取組と方向性

①大学に対する要請

今回、4度目のフォローアップ調査結果をとりまとめ、各歯学部においては、これまでの指摘等を踏まえて、着実に改善が図られてきたところであるものの、改善・充実の余地がある歯学部又は改善・充実の努力が不十分な歯学部があると指摘している。大学歯学部として本来の使命を果たすために、各大学の事情があるものの、以前から指摘されている内容もあるため、各歯学部が責任を持って、上記（2）フォローアッ

ブ調査で見られた成果と課題に対して、早急に取組の改善・充実を図る必要がある。特に、歯学教育の理念・目標に基づき、3つのポリシーを踏まえて、カリキュラム改革や入学試験改革、評価・試験方法の改革、教員・学生の意識改革など、様々な改革を実践し、教育改善のPDCAサイクルを機能させ、教育全体のフローを確認する必要がある。そのために、文部科学省や厚生労働省の施策、医療系大学間共用試験実施評価機構（CATO）などの関係機関の方針を理解し、学生に不利益を生じさせないように歯学教育の充実を図っていくことを強く求める。

情報公表については、現在法令上公表が義務化されている事項では、学生が実際にどのような知識や能力を修得し、どのような教育成果をあげたかなどの成果の確認ができていないという課題が指摘されている。今後、学修成果や教育成果、歯学教育の質に関する情報をより自発的・積極的に社会に対して公表していくことにより、社会からの評価を通じた教育の質の向上や、入学希望者のミスマッチの回避を図っていくことが重要である。この場合、各歯学部における分析や解説を、その根拠と併せて公表することが望ましい。

長年にわたり改善されていない取組に対して、当たり前と考えずに、真摯に受け止めて、他の歯学部の改善・充実された取組や先述の日本学術会議が示した「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準（歯学分野）」及び中央教育審議会が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」、中央教育審議会大学分科会の「教学マネジメント指針」等を参考にしながら、十分に検証して確実に進めていくこと。

卒前・卒後の一貫した教育が重要であるため、現在、厚生労働省医道審議会（歯科医師分科会）において検討を進めている「シームレスな歯科医師養成に向けた取組について」の動向に留意して、内容を把握するとともに情報収集に努めること。

「歯学教育分野別評価」の実施に向けて、公益法人財団大学基準協会で検討を進めており、令和3年度正式導入を目指している。正式導入までに書面評価や実地調査による試行評価を実施すると聞いているが、各歯学部においては、円滑な実施に向けて協力をお願いするとともに、正式導入された際には、歯学教育の質保証の観点から積極的に受審していただきたい。

②国に対する要請

文部科学省においては、今後の歯学教育の更なる充実と社会からの信頼を確保するため、今回のフォローアップ調査まとめを受けて、以下の方策を検討することを要請する。

○ 意見交換した歯学部に限らず、引き続きフォローアップが必要と判断した大学歯学部には、本協議会の委員等の協力を得て、診療参加型臨床実習を含めた歯学部教育の現場を視察し、学生等と意見交換を実施するなど、何らかのフォローアップを検討していただきたい。

- 大学における教育活動の情報公開については、学校教育法施行規則第172条の2などにより、入学者に関する受入れの方針や入学者の数を含め、大学のホームページ等を活用して広く社会に公表することが義務付けられている。歯学教育においては、今回のフォローアップ調査まとめであげられた課題である留年率や国家試験合格率、診療参加型臨床実習の取組状況等の学修成果や教育成果に関する情報について、先述のとおり、受験生や在学生にとっても有用な情報であり、社会的評価を含めた適切な対応を促進する観点から、各歯学部に対して積極的に情報公開することを求めている。

- 診療参加型臨床実習の推進のために、次期改訂時の歯学教育モデル・コア・カリキュラムにおいて、全国標準化したカリキュラムに加えて、地方に位置する歯学部の立地条件を勘案した内容を盛り込むことを、設置予定の有識者会議にて検討いただきたい。

(参考資料)

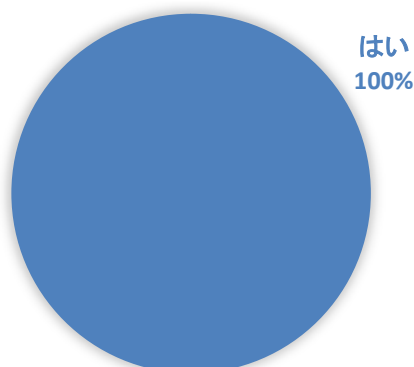
- ◇ 「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準（歯学分野）」（平成29年9月29日 日本学術会議）
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-h170929-8.pdf>
- ◇ 「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（平成30年11月26日 中央教育審議会）
https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2018/12/20/1411360_1_1_1.pdf
- ◇ 「教学マネジメント指針」（令和2年1月22日 中央教育審議会大学分科会）
https://www.mext.go.jp/content/20200206-mxt_daigakuc03-000004749_001r.pdf
- ◇ 「歯学教育モデル・コア・カリキュラム平成28年度改正版」モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会、モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会
https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/12/26/1383961_02_3.pdf

各大学歯学部における取組状況

【 I . 歯科医師として必要な臨床能力の確保】

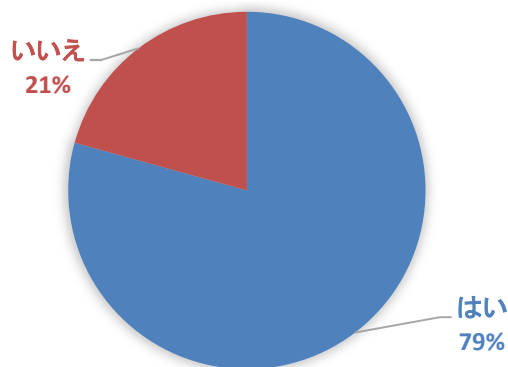
(1)臨床実習終了時における到達目標の明確化

① 臨床実習の到達目標を明確にしていますか？



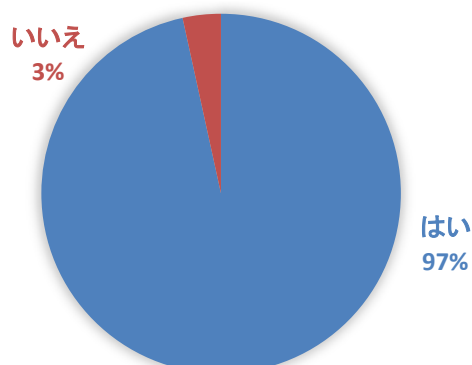
| | |
|-----|----|
| はい | 29 |
| いいえ | 0 |

② (①がYesの場合)臨床実習の到達目標は、卒後臨床研修の到達目標を踏まえて定めていますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 23 |
| いいえ | 6 |

③ 各科目ごとの成績評価基準を明示していますか？

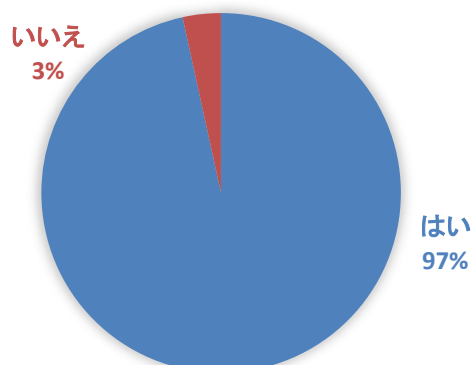


| | |
|-----|----|
| はい | 28 |
| いいえ | 1 |

※「いいえ」と回答した1大学は、科目ごとではなく症例ごとに成績評価基準を明示している。

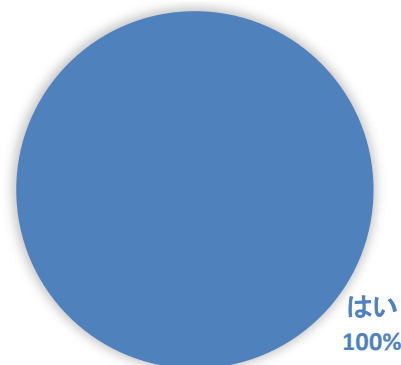
(2)診療参加型臨床実習の充実について

① 「歯学教育における診療参加型臨床実習実施のためのガイドラインー歯学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)準拠ー」(平成30年3月)(平成29年度大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業)を活用していますか？



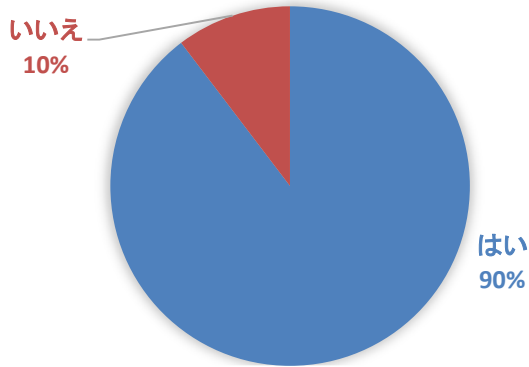
| | |
|-----|----|
| はい | 28 |
| いいえ | 1 |

② 指導医等による臨床実習の評価について、ポートフォリオ等を活用していますか？



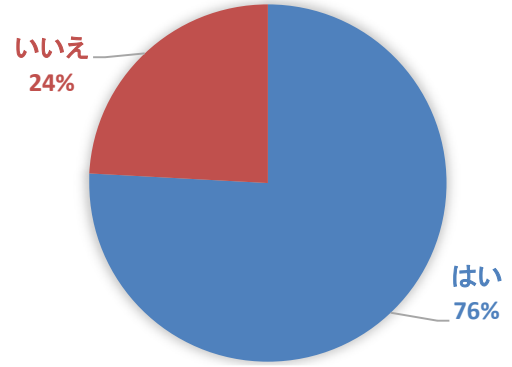
| | |
|-----|----|
| はい | 29 |
| いいえ | 0 |

③ 学生が自験を行うにあたり、学生は特定の患者を受け持っていますか？



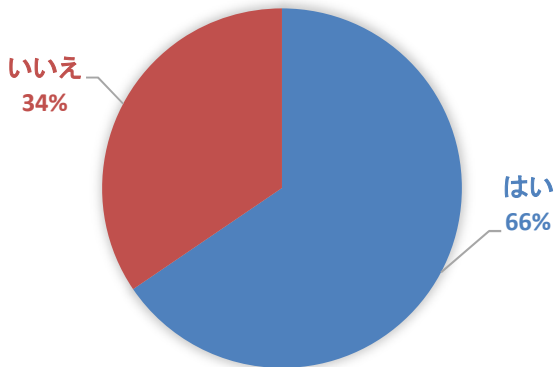
| | |
|-----|----|
| はい | 26 |
| いいえ | 3 |

④ 貴大学において学生に対する臨床実習に必要な患者数は十分に確保できていますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 22 |
| いいえ | 7 |

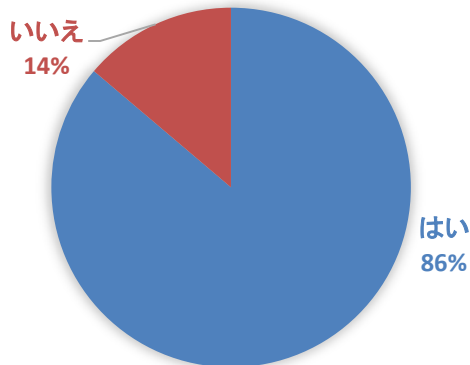
⑤ 永久歯の単純抜歯、コンポジットレジン修復、感染根管治療、クラウンによる補綴処置、可撤性義歯による簡単な欠損補綴処置の全てにおいて、学生は最初から最後まで全てのステップを自験していますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 19 |
| いいえ | 10 |

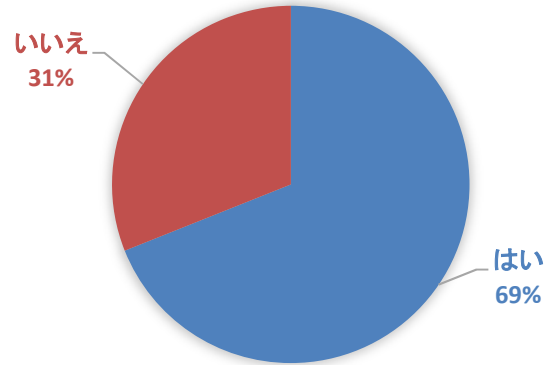
(6)臨床能力の評価の実施

① 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構(CATO)が行う診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験を令和2年度から実施する予定はありますか？



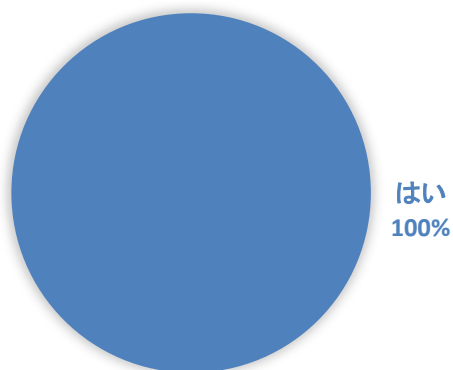
| | |
|-----|----|
| はい | 25 |
| いいえ | 4 |

② 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験以外に臨床実習後の臨床能力評価を実施していますか？



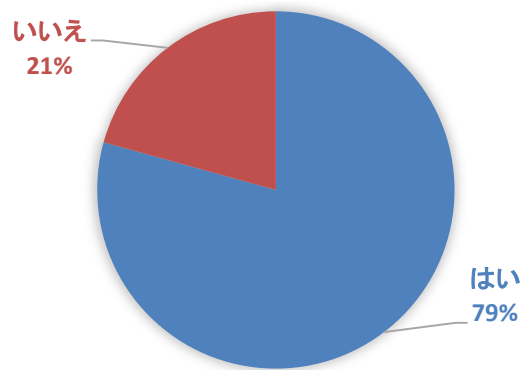
| | |
|-----|----|
| はい | 20 |
| いいえ | 9 |

③ 共用試験CBT・OSCEを進級判定に利用していますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 29 |
| いいえ | 0 |

④ 多様な症例の経験を通じて基本的な臨床能力を習得させる等の目的のため、臨床実習において学外の歯科医療機関を活用していますか？

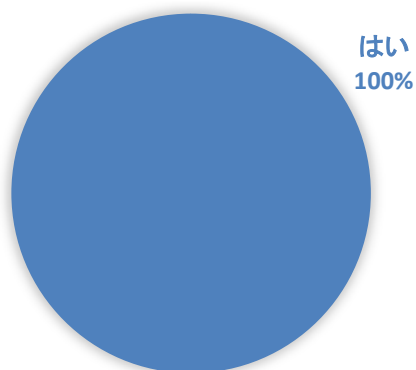


| | |
|-----|----|
| はい | 23 |
| いいえ | 6 |

【Ⅱ. 優れた歯科医師を養成する体系的な歯学教育の実施】

(1) 歯学教育全体を通じた体系的な教育課程の編成等に当たる専門教員の配置

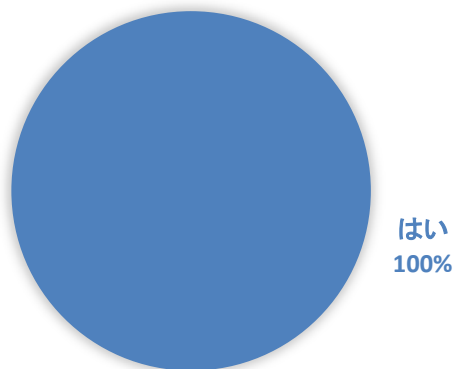
① 歯学教育全体を通じた体系的な教育課程の編成に当たる専門の教員を配置していますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 29 |
| いいえ | 0 |

(2) 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)の策定

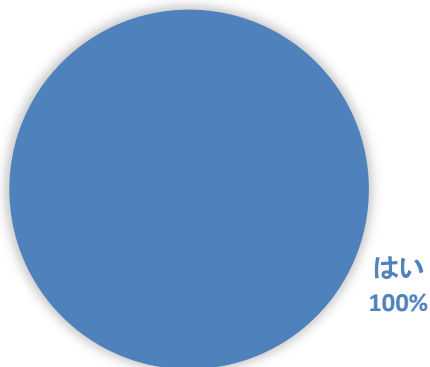
① 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を明確にしていますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 29 |
| いいえ | 0 |

(3)学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)の策定

① 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を明確にしていますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 29 |
| いいえ | 0 |

(4)今後の歯学教育を取り巻く環境変化を見据えた特色ある教育の体系的な実施

① 口腔と全身の関わりに関する教育を実施していますか？

② 高齢者への対応に関する教育を実施していますか？

③ 全身疾患を有する者への対応に関する教育を実施していますか？

④ 予防歯学に関する教育を実施していますか？

⑤ 社会医学に関する教育を実施していますか？

⑥ 在宅歯科医療に関する教育を実施していますか？

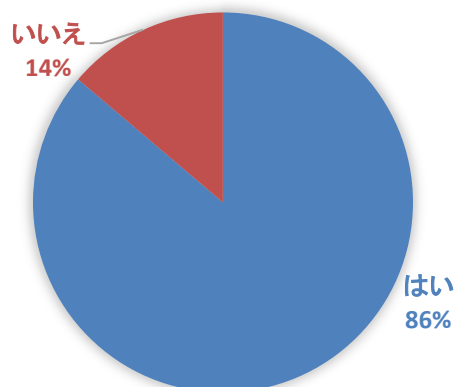
⑦ 地域包括ケアの構築に関する教育を実施していますか？

⑧ 口腔がんに関する教育を実施していますか？

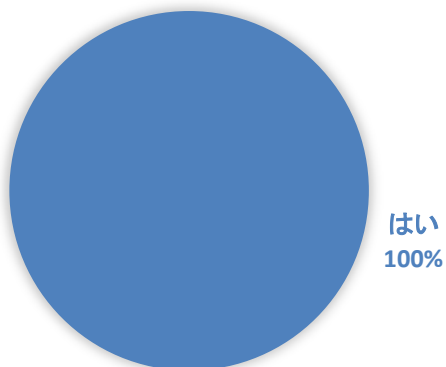
⑩ 歯科法医学に関する教育を実施していますか？

⑪ 健康長寿社会の実現(健康管理・増進)に関する教育を実施していますか？

⑨ スポーツ歯科に関する教育を実施していますか？

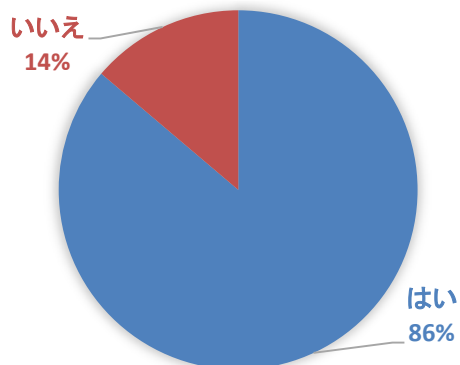


| | |
|-----|----|
| はい | 25 |
| いいえ | 4 |



| | |
|-----|----|
| はい | 29 |
| いいえ | 0 |

⑫ 革新的な歯科医療機器の開発・普及等に関する教育を実施していますか？

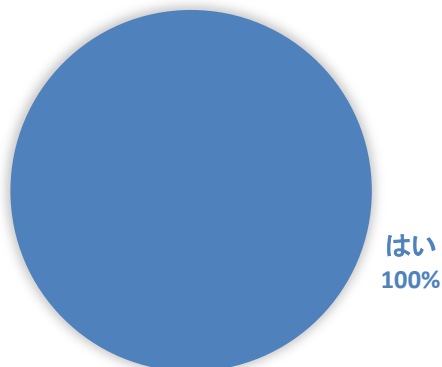


| | |
|-----|----|
| はい | 25 |
| いいえ | 4 |

【Ⅲ. 歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者の確保】

(1) 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)の策定

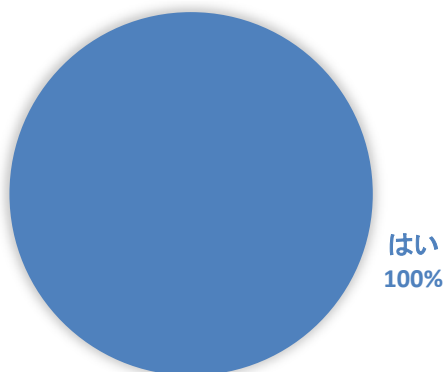
- ① 求める学生像や歯学教育を受けるために必要な水準等
を示した入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)を明確
にしていますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 29 |
| いいえ | 0 |

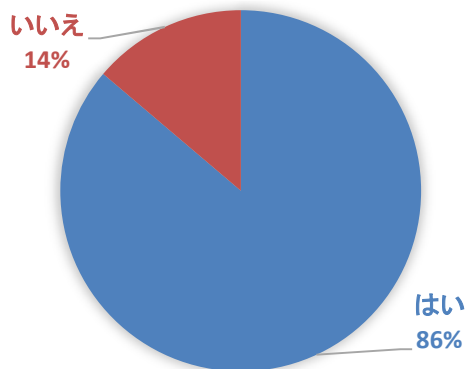
(2) 入学志願者の適性、目的意識、コミュニケーション能力等を見極める実効ある入試の更なる工夫

- ① 面接の充実に取り組んでいますか？



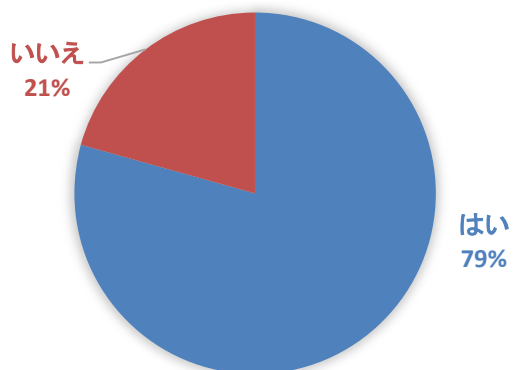
| | |
|-----|----|
| はい | 29 |
| いいえ | 0 |

- ② 入学試験に関する高等学校との連携を強化していますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 25 |
| いいえ | 4 |

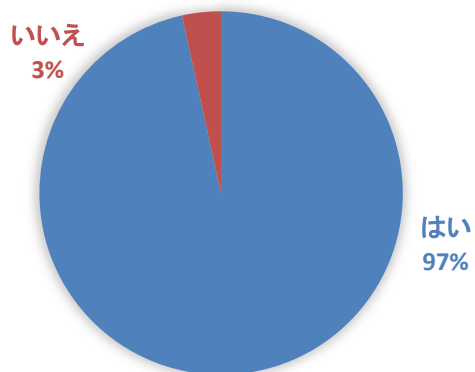
- ③ ボランティア活動など志願者の実績・経験に係る評価を行っていますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 23 |
| いいえ | 6 |

(3)履修指導や学習支援の実施

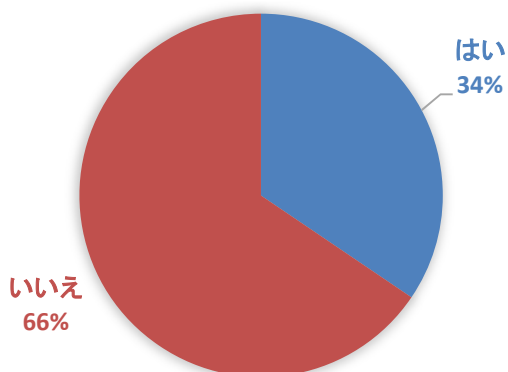
① 成績不振者へのきめ細かな履修指導や学習支援を実施していますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 28 |
| いいえ | 1 |

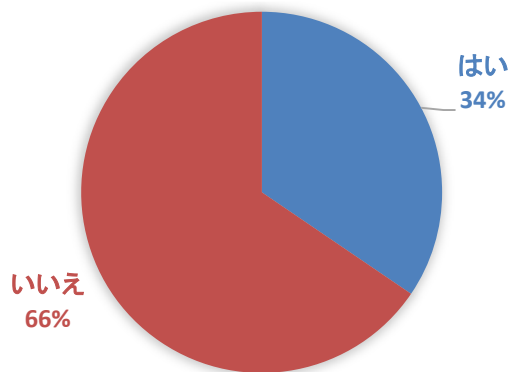
(4)学生の確保及び支援状況

① 貴大学において入試の選抜機能が低下し優れた入学者の確保が困難な状況となっていると考えていますか？



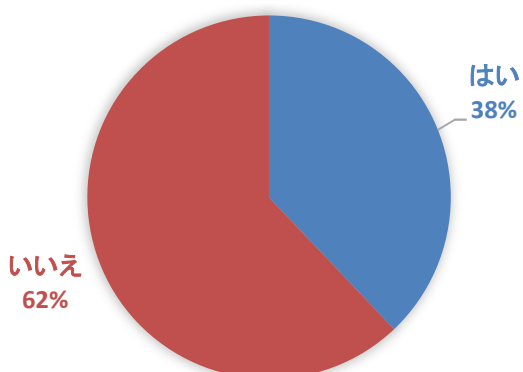
| | |
|-----|----|
| はい | 10 |
| いいえ | 19 |

② 貴大学において歯科医師国家試験合格率が低迷していると考えていますか？



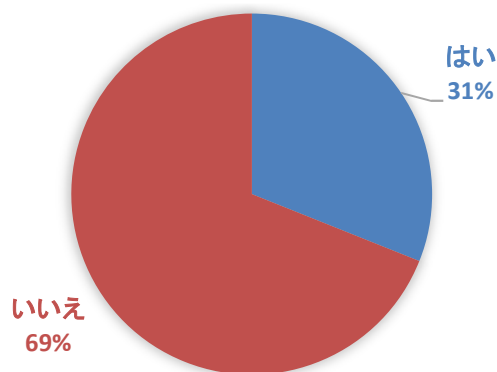
| | |
|-----|----|
| はい | 10 |
| いいえ | 19 |

③ 貴大学において留年(修業年限超過)の学生が多くなっていると考えていますか？



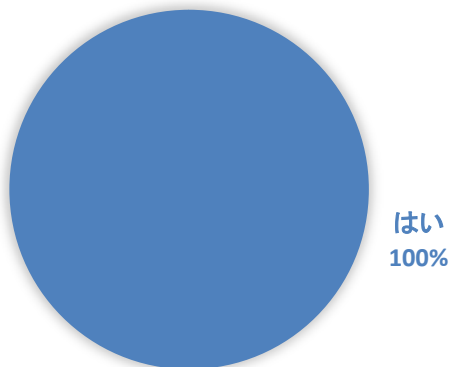
| | |
|-----|----|
| はい | 11 |
| いいえ | 18 |

④ 貴大学において退学の学生が多くなっていると考えていますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 9 |
| いいえ | 20 |

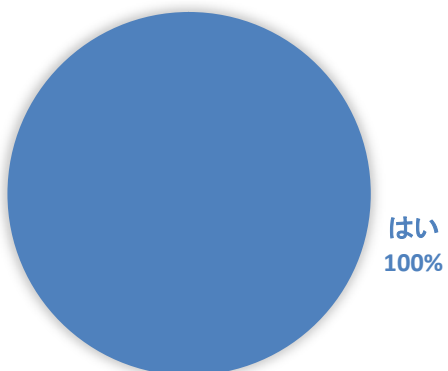
- ⑤ 平成22年度から平成25年度に入学した学生のうち、歯科医師にならなかった学生はいますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 29 |
| いいえ | 0 |

(7)教育活動の公表

- ① 情報の公開について、受験生や在学生にとって有益な情報を貴大学のホームページ等にて公表していますか？



| | |
|-----|----|
| はい | 29 |
| いいえ | 0 |

各種データ

歯学部歯学科の入学定員一覧（令和元年度）

【国立大学】

(単位:人)

| NO | 大学名 | 入学定員 |
|-----------------|----------|----------|
| 1 | 北海道大学 | 53 |
| 2 | 東北大学 | 53 |
| 3 | 東京医科歯科大学 | 53 |
| 4 | 新潟大学 | <5> 45 |
| 5 | 大阪大学 | 53 |
| 6 | 岡山大学 | <5> 53 |
| 7 | 広島大学 | 53 |
| 8 | 徳島大学 | <3> 43 |
| 9 | 九州大学 | 53 |
| 10 | 長崎大学 | 50 |
| 11 | 鹿児島大学 | 53 |
| 国立大学計 (11大学) | | <13> 562 |

【公立大学】

(単位:人)

| NO | 大学名 | 入学定員 |
|----------------|--------|------|
| 12 | 九州歯科大学 | 95 |
| 公立大学計 (1大学) | | 95 |

【私立大学】

(単位:人)

| NO | 大学名 | 入学定員 |
|---------------------|-----------------|---------------|
| 13 | 北海道医療大学 | (80) 80 |
| 14 | 岩手医科大学 | (57) 73 |
| 15 | 奥羽大学 | (96) 100 |
| 16 | 明海大学 | (120) 120 |
| 17 | 東京歯科大学 | (128) 140 |
| 18 | 昭和大学 | (96) 105 |
| 19 | 日本大学 | (128) 130 |
| 20 | 日本大学(松戸歯学部) | (115) 130 |
| 21 | 日本歯科大学(生命歯学部) | (128) 160 |
| 22 | 日本歯科大学(新潟生命歯学部) | (70) 120 |
| 23 | 神奈川歯科大学 | (110) 120 |
| 24 | 鶴見大学 | (115) 120 |
| 25 | 松本歯科大学 | (96) 120 |
| 26 | 朝日大学 | (128) 140 |
| 27 | 愛知学院大学 | (125) 125 |
| 28 | 大阪歯科大学 | (128) 160 |
| 29 | 福岡歯科大学(口腔歯学部) | (93) 120 |
| 私立大学計 (15大学17学部) | | (1,813) 2,063 |

【国公私立大学】

(単位:人)

| | |
|------------------|-----------------------|
| 合計 (27大学29学部) | <13> (2,470) 2,720 |
|------------------|-----------------------|

注1) < >は第2年次編入学定員で内数。

注2) ()は募集人員。

(文部科学省医学教育課調べ)

令和元年度 各大学歯学部の入学状況及び国家試験結果

| 大学名 | A R1入学 定員 <small>(編入学を含む) (私立大学については、募集人員)</small> | B.入学定員 削減計画 | | C.入学定員(募集人員)充足率 | | | | | | | | | | D.入学者選抜競争倍率 | | | | E.国家試験合格率 (新卒) | | | | F.最低修業年限での国家試験 合格率(編入学者を除く) | | | | | | | |
|------------------|---|----------------|----|-------------------------|--------|-----------|-----------|----------|----------|--------|--------|-----------|-----------|-------------|---|------|------|-------------------|---|--------------|-------|--------------------------------|-----------|--------------|-------|--------------|--------------|--------------|---|
| | | | | (編入学を除く) | | | | | (編入学を含む) | | | | | | | | | 110回 H29年 | | 111回 H30年 | | 112回 H31年 | | 110回 H29年 | | 111回 H30年 | | 112回 H31年 | |
| | | | | R1入定の S60に対する 削減率 | ① | H29 年度 | H30 年度 | R1 年度 | ① | ② | ③ | H29 年度 | H30 年度 | | | | | R1 年度 | ① | ② | ③ | H29 年度 | H30 年度 | R1 年度 | ① | 110回 H29年 | 111回 H30年 | 112回 H31年 | ① |
| 1 北海道大学 | 53 | 33.8% | | 100.0% | 97.7% | 100.0% | | | | 100.0% | 97.7% | 100.0% | | | | 3.21 | 3.83 | 4.64 | | 94.7% | 83.6% | 91.7% | | 64.2% | 66.0% | 71.7% | | | |
| 2 東北大学 | 53 | 33.8% | | 107.5% | 100.0% | 100.0% | | | | 107.5% | 100.0% | 100.0% | | | | 2.76 | 2.75 | 2.63 | | 86.7% | 80.8% | 97.6% | | 72.5% | 71.7% | 64.8% | | | |
| 3 東京医科歯科大学 | 53 | 33.8% | | 100.0% | 100.0% | 96.2% | | | | 100.0% | 100.0% | 96.2% | | | | 3.40 | 3.31 | 3.22 | | 95.5% | 96.1% | 88.2% | | 75.5% | 72.7% | 64.8% | | | |
| 4 新潟大学 | 45 | 43.8% | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 2.93 | 3.73 | 3.30 | | 77.8% | 81.0% | 95.0% | | 72.5% | 75.0% | 82.5% | | | |
| 5 大阪大学 | 53 | 33.8% | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 2.09 | 2.95 | 2.19 | | 87.1% | 83.0% | 90.2% | | 72.2% | 62.3% | 71.7% | | | |
| 6 岡山大学 | 53 | 33.8% | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 2.52 | 2.90 | 2.71 | | 86.8% | 93.9% | 91.1% | | 89.6% | 81.3% | 75.0% | | | |
| 7 広島大学 | 53 | 33.8% | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 4.93 | 3.69 | 4.75 | | 72.3% | 88.0% | 88.9% | | 62.3% | 66.0% | 69.8% | | | |
| 8 徳島大学 | 43 | 28.3% | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 4.37 | 3.95 | 3.65 | | 68.1% | 84.4% | 86.5% | | 57.5% | 77.5% | 70.0% | | | |
| 9 九州大学 | 53 | 33.8% | | 100.0% | 100.0% | 98.1% | | | | 100.0% | 100.0% | 98.1% | | | | 3.87 | 2.09 | 3.23 | | 82.8% | 95.2% | 84.9% | | 75.9% | 71.7% | 68.5% | | | |
| 10 長崎大学 | 50 | 37.5% | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 4.67 | 3.50 | 5.20 | | 66.0% | 79.2% | 76.5% | ● | 56.0% | 72.0% | 68.0% | | | |
| 11 鹿児島大学 | 53 | 33.8% | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 2.50 | 3.18 | 3.58 | | 77.2% | 72.7% | 84.8% | | 73.6% | 73.1% | 73.6% | | | |
| 12 九州歯科大学 | 95 | 20.8% | ● | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 4.78 | 4.49 | 4.12 | | 85.6% | 90.0% | 82.6% | | 73.7% | 75.8% | 70.5% | | | |
| 13 北海道医療大学 | 80 | 33.3% | | 71.3% | 71.3% | 103.8% | | | ● | 75.0% | 72.5% | 106.3% | | | ● | 1.19 | 1.12 | 1.18 | ● | 71.7% | 81.6% | 82.4% | | 51.2% | 42.6% | 52.8% | ● | | |
| 14 岩手医科大学 | 57 | 28.8% | | 73.7% | 80.7% | 87.7% | ● | | | 78.9% | 84.2% | 93.0% | ● | | | 1.22 | 1.16 | 1.14 | ● | 76.6% | 69.8% | 85.1% | ● | 38.5% | 45.7% | 55.9% | ● | | |
| 15 奥羽大学 | 96 | 20.0% | ● | 51.0% | 53.1% | 45.8% | ● | | | 74.0% | 76.0% | 75.0% | ● | | | 1.37 | 1.46 | 1.39 | ● | 54.8% | 36.0% | 51.4% | ● | 33.3% | 25.0% | 24.0% | ● | | |
| 16 明海大学 | 120 | 25.0% | ● | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 102.5% | 102.5% | 100.0% | | | | 3.09 | 2.87 | 3.07 | | 92.9% | 85.7% | 80.2% | | 35.4% | 42.7% | 44.2% | ● | | |
| 17 東京歯科大学 | 128 | 20.0% | ● | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 105.5% | 105.5% | 106.3% | | | ● | 3.94 | 4.11 | 4.06 | | 93.0% | 96.1% | 96.1% | | 65.6% | 74.2% | 69.5% | | | |
| 18 昭和大学 | 96 | 20.0% | ● | 101.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 101.0% | 102.1% | 101.0% | | | ● | 4.74 | 5.13 | 5.75 | | 80.9% | 73.8% | 85.1% | | 66.3% | 52.1% | 67.3% | | | |
| 19 日本大学 | 128 | 20.0% | ● | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 101.6% | 100.0% | 100.0% | | | | 3.06 | 3.28 | 3.30 | | 61.7% | 71.1% | 61.5% | ● | 48.4% | 50.0% | 44.5% | ● | | |
| 20 日本大学松戸歯学部 | 115 | 28.1% | | 103.5% | 100.0% | 99.1% | | | | 108.7% | 101.7% | 101.7% | | | ● | 2.38 | 2.71 | 2.49 | | 79.3% | 59.8% | 77.5% | ● | 37.8% | 27.4% | 43.4% | ● | | |
| 21 日本歯科大学 | 128 | 20.0% | ● | 100.0% | 103.1% | 100.8% | | | ● | 106.3% | 110.9% | 105.5% | | | ● | 3.82 | 4.07 | 3.70 | | 62.5% | 65.0% | 73.8% | ● | 46.7% | 44.5% | 48.4% | ● | | |
| 22 日本歯科大学新潟生命歯学部 | 70 | 41.7% | | 90.0% | 72.5% | 98.5% | ● | | | 95.0% | 73.8% | 101.5% | | | ● | 1.41 | 1.43 | 1.52 | ● | 73.7% | 80.4% | 93.9% | | 32.7% | 36.4% | 44.4% | ● | | |
| 23 神奈川歯科大学 | 110 | 31.3% | | 106.4% | 105.5% | 107.3% | | | ● | 109.1% | 106.4% | 107.3% | | | ● | 4.40 | 2.12 | 2.34 | | 84.2% | 69.5% | 86.0% | | 36.5% | 18.5% | 44.8% | ● | | |
| 24 鶴見大学 | 115 | 28.1% | | 58.3% | 58.3% | 73.0% | ● | | | 62.6% | 61.7% | 75.7% | ● | | | 3.96 | 1.48 | 1.47 | ● | 59.5% | 73.6% | 71.4% | ● | 17.5% | 26.7% | 26.2% | ● | | |
| 25 松本歯科大学 | 96 | 20.0% | ● | 100.0% | 92.7% | 88.5% | ● | | | 106.3% | 94.8% | 90.6% | ● | | | 1.59 | 1.22 | 1.08 | ● | 89.1% | 76.3% | 75.8% | ● | 53.3% | 36.4% | 49.0% | ● | | |
| 26 朝日大学 | 128 | 20.0% | ● | 100.0% | 100.0% | 100.8% | | | | 100.0% | 101.6% | 107.0% | | | ● | 2.01 | 1.67 | 2.05 | | 75.0% | 72.0% | 73.7% | ● | 26.7% | 40.0% | 44.5% | ● | | |
| 27 愛知学院大学 | 125 | 21.9% | ● | 99.2% | 96.8% | 106.4% | | | ● | 99.2% | 96.8% | 106.4% | | | ● | 1.75 | 1.53 | 1.82 | ● | 65.8% | 77.3% | 75.9% | ● | 46.3% | 46.2% | 40.3% | ● | | |
| 28 大阪歯科大学 | 128 | 20.0% | ● | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | | 102.3% | 101.6% | 104.7% | | | ● | 2.70 | 3.05 | 4.03 | | 91.4% | 82.2% | 80.4% | | 51.6% | 50.0% | 52.0% | ● | | |
| 29 福岡歯科大学 | 93 | 22.5% | ● | 91.6% | 103.2% | 91.4% | | | ● | 91.6% | 108.5% | 92.5% | | | ● | 1.54 | 1.69 | 1.22 | ● | 44.1% | 58.0% | 41.9% | ● | 25.0% | 25.3% | 40.4% | ● | | |
| 合計 | 2,470 | 26.9% | 12 | 94.6% | 94.8% | 96.2% | 5 | 2 | 3 | 97.6% | 95.8% | 99.2% | 4 | 7 | 4 | 2.69 | 2.52 | 2.63 | 8 | 76.9% | 77.9% | 79.5% | 11 | 50.9% | 50.6% | 53.7% | 15 | | |

指標
● : 指標に該当する大学

削減率28%未満
①28%未満
充足率100%未満、100%超過
①H30,R1年度連続で100%未満
②H30,R1年度連続で100%超過
③H30,R1年度連続で100%以外(①、②を除く)
競争倍率2倍未満
①H30,R1年度連続で2倍未満
国家試験合格率(新卒)平均未満
①過去3年間のうち2年以上平均未満
国家試験合格率平均未満
①過去3年間のうち2年以上平均未満

令和元年度 歯学部歯学科入試結果

| 大学名 | 入学定員 (人) | 志願者 (人) | 志願倍率 (人) | 受験者 (人) | 合格者 (人) | 入試競争倍率 (人) | 入学者 (人) | 入学率 | 充足率 | (参考) 過去の充足率 | | |
|--------------------|-------------|------------|-------------|------------|------------|---------------|------------|------|--------|-------------|--------|--------|
| | | | | | | | | | | R1 | H30 | H29 |
| 1 北海道大学 | ※43 | 300 | 6.98 | 204 | 44 | 4.64 | 43 | 0.98 | 100.0% | 97.7% | 100.0% | 100.0% |
| 2 東北大学 | 53 | 229 | 4.32 | 150 | 57 | 2.63 | 53 | 0.93 | 100.0% | 100.0% | 107.5% | 94.3% |
| 3 東京医科歯科大学 | 53 | 343 | 6.47 | 187 | 58 | 3.22 | 51 | 0.88 | 96.2% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 4 新潟大学 | 40 | 209 | 5.23 | 145 | 44 | 3.30 | 40 | 0.91 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 5 大阪大学 | 53 | 126 | 2.38 | 118 | 54 | 2.19 | 53 | 0.98 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 6 岡山大学 | 48 | 197 | 4.10 | 133 | 49 | 2.71 | 48 | 0.98 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 7 広島大学 | 53 | 422 | 7.96 | 266 | 56 | 4.75 | 53 | 0.95 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 8 徳島大学 | 40 | 234 | 5.85 | 157 | 43 | 3.65 | 40 | 0.93 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 9 九州大学 | 53 | 211 | 3.98 | 184 | 57 | 3.23 | 52 | 0.91 | 98.1% | 100.0% | 100.0% | 98.1% |
| 10 長崎大学 | 50 | 339 | 6.78 | 260 | 50 | 5.20 | 50 | 1.00 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 11 鹿児島大学 | 53 | 274 | 5.17 | 190 | 53 | 3.58 | 53 | 1.00 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 国立大学 計 | 539 | 2,884 | 5.35 | 1,994 | 565 | 3.53 | 536 | 0.95 | 99.4% | 99.8% | 100.7% | 99.3% |
| 12 九州歯科大学 | 95 | 445 | 4.68 | 404 | 98 | 4.12 | 95 | 0.97 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 公立大学 計 | 95 | 445 | 4.68 | 404 | 98 | 4.12 | 95 | 0.97 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 13 北海道医療大学 | 80 | 436 | 5.45 | 416 | 354 | 1.18 | 83 | 0.23 | 103.8% | 71.3% | 71.3% | 100.0% |
| 14 岩手医科大学 | 57 | 155 | 2.72 | 124 | 109 | 1.14 | 50 | 0.46 | 87.7% | 80.7% | 73.7% | 82.5% |
| 15 奥羽大学 | 96 | 192 | 2.00 | 182 | 131 | 1.39 | 44 | 0.34 | 45.8% | 53.1% | 51.0% | 53.1% |
| 16 明海大学 | 120 | 818 | 6.82 | 780 | 254 | 3.07 | 120 | 0.47 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 17 東京歯科大学 | 128 | 1,025 | 8.01 | 902 | 222 | 4.06 | 128 | 0.58 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 18 昭和大学 | 96 | 1,100 | 11.46 | 1,064 | 185 | 5.75 | 96 | 0.52 | 100.0% | 100.0% | 101.0% | 102.1% |
| 19 日本大学 | 128 | 890 | 6.95 | 803 | 243 | 3.30 | 128 | 0.53 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 101.6% |
| 20 日本大学(松戸歯学部) | 115 | 592 | 5.15 | 527 | 212 | 2.49 | 114 | 0.54 | 99.1% | 100.0% | 103.5% | 110.4% |
| 21 日本歯科大学 | 128 | 988 | 7.72 | 884 | 239 | 3.70 | 129 | 0.54 | 100.8% | 103.1% | 100.0% | 100.0% |
| 22 日本歯科大学(新潟生命歯学部) | 70 | 372 | 5.31 | 341 | 224 | 1.52 | 65 | 0.29 | 92.9% | 72.5% | 90.0% | 96.3% |
| 23 神奈川歯科大学 | 110 | 681 | 6.19 | 603 | 258 | 2.34 | 118 | 0.46 | 107.3% | 105.5% | 106.4% | 106.0% |
| 24 鶴見大学 | 115 | 395 | 3.43 | 314 | 213 | 1.47 | 84 | 0.39 | 73.0% | 58.3% | 58.3% | 91.3% |
| 25 松本歯科大学 | 96 | 170 | 1.77 | 160 | 148 | 1.08 | 85 | 0.57 | 88.5% | 92.7% | 100.0% | 100.0% |
| 26 朝日大学 | 128 | 533 | 4.16 | 510 | 249 | 2.05 | 129 | 0.52 | 100.8% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 27 愛知学院大学 | 125 | 749 | 5.99 | 664 | 364 | 1.82 | 133 | 0.37 | 106.4% | 96.8% | 99.2% | 98.4% |
| 28 大阪歯科大学 | 128 | 786 | 6.14 | 757 | 188 | 4.03 | 128 | 0.68 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 29 福岡歯科大学 | 93 | 238 | 2.56 | 220 | 181 | 1.22 | 85 | 0.47 | 91.4% | 103.2% | 91.6% | 101.0% |
| 私立大学 計 | 1,813 | 10,120 | 5.58 | 9,251 | 3,774 | 2.45 | 1,719 | 0.46 | 94.8% | 91.9% | 92.4% | 97.4% |
| 合計 | 2,447 | 13,449 | 5.5 | 11,649 | 4,437 | 2.63 | 2,350 | 0.53 | 96.0% | 94.0% | 94.6% | 97.9% |

(※1) 北海道大学の定員は、定員53名のうち10名を総合入試で入学した者から2年次進級時に選抜するため、43人としている。

(※2) 私立大学の定員は、募集人員である。

(※3) 編入学を除く。

(※4) 充足率 = 入学者数 / 入学定員

(文部科学省医学教育課調べ)

歯学部歯学科 入試競争倍率推移

| 大学名 | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | 令和元年度 | | |
|--------------------|---------------|--------------|-------------|---------------|--------------|-------------|---------------|--------------|-------------|
| | 受験者数 (人) | 合格者数 (人) | 競争倍率 | 受験者数 (人) | 合格者数 (人) | 競争倍率 | 受験者数 (人) | 合格者数 (人) | 競争倍率 |
| 1 北海道大学 | 167 | 52 | 3.21 | 176 | 46 | 3.83 | 204 | 44 | 4.64 |
| 2 東北大学 | 163 | 59 | 2.76 | 165 | 60 | 2.75 | 150 | 57 | 2.63 |
| 3 東京医科歯科大学 | 180 | 58 | 3.10 | 192 | 58 | 3.31 | 187 | 58 | 3.22 |
| 4 新潟大学 | 132 | 45 | 2.93 | 164 | 44 | 3.73 | 145 | 44 | 3.30 |
| 5 大阪大学 | 119 | 57 | 2.09 | 168 | 57 | 2.95 | 118 | 54 | 2.19 |
| 6 岡山大学 | 126 | 50 | 2.52 | 148 | 51 | 2.90 | 133 | 49 | 2.71 |
| 7 広島大学 | 276 | 56 | 4.93 | 214 | 58 | 3.69 | 266 | 56 | 4.75 |
| 8 徳島大学 | 188 | 43 | 4.37 | 166 | 42 | 3.95 | 157 | 43 | 3.65 |
| 9 九州大学 | 213 | 55 | 3.87 | 117 | 56 | 2.09 | 184 | 57 | 3.23 |
| 10 長崎大学 | 257 | 55 | 4.67 | 175 | 50 | 3.50 | 260 | 50 | 5.20 |
| 11 鹿児島大学 | 145 | 58 | 2.50 | 194 | 61 | 3.18 | 190 | 53 | 3.58 |
| 国立大学 計 | 1,966 | 588 | 3.34 | 1,879 | 583 | 3.22 | 1,994 | 565 | 3.53 |
| 12 九州歯科大学 | 459 | 96 | 4.78 | 449 | 100 | 4.49 | 404 | 98 | 4.12 |
| 公立大学 計 | 459 | 96 | 4.78 | 449 | 100 | 4.49 | 404 | 98 | 4.12 |
| 13 北海道医療大学 | 338 | 284 | 1.19 | 342 | 305 | 1.12 | 416 | 354 | 1.18 |
| 14 岩手医科大学 | 111 | 91 | 1.22 | 114 | 98 | 1.16 | 124 | 109 | 1.14 |
| 15 奥羽大学 | 184 | 134 | 1.37 | 216 | 148 | 1.46 | 182 | 131 | 1.39 |
| 16 明海大学 | 778 | 252 | 3.09 | 761 | 265 | 2.87 | 780 | 254 | 3.07 |
| 17 東京歯科大学 | 843 | 214 | 3.94 | 859 | 209 | 4.11 | 902 | 222 | 4.06 |
| 18 昭和大学 | 867 | 183 | 4.74 | 913 | 178 | 5.13 | 1,064 | 185 | 5.75 |
| 19 日本大学 | 700 | 229 | 3.06 | 732 | 223 | 3.28 | 803 | 243 | 3.30 |
| 20 日本大学(松戸歯学部) | 443 | 186 | 2.38 | 528 | 195 | 2.71 | 527 | 212 | 2.49 |
| 21 日本歯科大学 | 889 | 233 | 3.82 | 867 | 213 | 4.07 | 884 | 239 | 3.70 |
| 22 日本歯科大学(新潟生命歯学部) | 339 | 241 | 1.41 | 318 | 223 | 1.43 | 341 | 224 | 1.52 |
| 23 神奈川歯科大学 | 515 | 250 | 2.06 | 569 | 268 | 2.12 | 603 | 258 | 2.34 |
| 24 鶴見大学 | 265 | 176 | 1.51 | 271 | 183 | 1.48 | 314 | 213 | 1.47 |
| 25 松本歯科大学 | 281 | 177 | 1.59 | 211 | 173 | 1.22 | 160 | 148 | 1.08 |
| 26 朝日大学 | 498 | 248 | 2.01 | 416 | 249 | 1.67 | 510 | 249 | 2.05 |
| 27 愛知学院大学 | 575 | 329 | 1.75 | 483 | 316 | 1.53 | 664 | 364 | 1.82 |
| 28 大阪歯科大学 | 603 | 223 | 2.70 | 687 | 225 | 3.05 | 757 | 188 | 4.03 |
| 29 福岡歯科大学 | 257 | 167 | 1.54 | 255 | 151 | 1.69 | 220 | 181 | 1.22 |
| 私立大学 計 | 8,486 | 3,617 | 2.35 | 8,542 | 3,622 | 2.36 | 9,251 | 3,774 | 2.45 |
| 合計 | 10,911 | 4,301 | 2.54 | 10,870 | 4,305 | 2.52 | 11,649 | 4,437 | 2.63 |

(※1) 編入学を除く。

(※2) 競争倍率 = 受験者数 / 合格者数

(文部科学省医学教育課調べ)

歯学部歯学科における入学定員削減状況

令和元年5月1日現在

| 大学名 | | S60 入学定員 | R1 入学定員 | S60に対する 定員削減数 | S60に対する 削減率 |
|--------|-----------------|-------------|------------|------------------|----------------|
| 1 | 北海道大学 | 80 | 53 | 27 | 33.8% |
| 2 | 東北大学 | 80 | 53 | 27 | 33.8% |
| 3 | 東京医科歯科大学 | 80 | 53 | 27 | 33.8% |
| 4 | 新潟大学 | 80 | 45 | 35 | 43.8% |
| 5 | 大阪大学 | 80 | 53 | 27 | 33.8% |
| 6 | 岡山大学 | 80 | 53 | 27 | 33.8% |
| 7 | 広島大学 | 80 | 53 | 27 | 33.8% |
| 8 | 徳島大学 | 60 | 43 | 17 | 28.3% |
| 9 | 九州大学 | 80 | 53 | 27 | 33.8% |
| 10 | 長崎大学 | 80 | 50 | 30 | 37.5% |
| 11 | 鹿児島大学 | 80 | 53 | 27 | 33.8% |
| 国立大学 計 | | 860 | 562 | 298 | 34.7% |
| 12 | 九州歯科大学 | 120 | 95 | 25 | 20.8% |
| 公立大学 計 | | 120 | 95 | 25 | 20.8% |
| 13 | 北海道医療大学 | 120 | 80 | 40 | 33.3% |
| 14 | 岩手医科大学 | 80 | 57 | 23 | 28.8% |
| 15 | 奥羽大学 | 120 | 96 | 24 | 20.0% |
| 16 | 明海大学 | 160 | 120 | 40 | 25.0% |
| 17 | 東京歯科大学 | 160 | 128 | 32 | 20.0% |
| 18 | 昭和大学 | 120 | 96 | 24 | 20.0% |
| 19 | 日本大学 | 160 | 128 | 32 | 20.0% |
| 20 | 日本大学(松戸歯学部) | 160 | 115 | 45 | 28.1% |
| 21 | 日本歯科大学 | 160 | 128 | 32 | 20.0% |
| 22 | 日本歯科大学(新潟生命歯学部) | 120 | 70 | 50 | 41.7% |
| 23 | 神奈川歯科大学 | 160 | 110 | 50 | 31.3% |
| 24 | 鶴見大学 | 160 | 115 | 45 | 28.1% |
| 25 | 松本歯科大学 | 120 | 96 | 24 | 20.0% |
| 26 | 朝日大学 | 160 | 128 | 32 | 20.0% |
| 27 | 愛知学院大学 | 160 | 125 | 35 | 21.9% |
| 28 | 大阪歯科大学 | 160 | 128 | 32 | 20.0% |
| 29 | 福岡歯科大学 | 120 | 93 | 27 | 22.5% |
| 私立大学 計 | | 2,400 | 1,813 | 587 | 24.5% |
| 合計 | | 3,380 | 2,470 | 910 | 26.9% |

(※) 私立大学の定員は、募集人員である。

(文部科学省医学教育課調べ)

第112回（平成31年）歯科医師国家試験結果

○新卒者の大学別合格者状況

| 学校名 | 平成25年度 入学定員 | 第111回（平成30年2月）合格者状況 | | | | 第112回（平成31年2月）合格者状況 | | | | 合格率増減 (H30-H31) |
|------------------|----------------|---------------------|-------|-------|-------|---------------------|-------|-------|-------|--------------------|
| | | 出願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 | 出願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 | |
| 1 北海道大学歯学部 | 53 | 55 | 55 | 46 | 83.6% | 48 | 48 | 44 | 91.7% | 8.0% |
| 2 東北大学歯学部 | 53 | 52 | 52 | 42 | 80.8% | 41 | 41 | 40 | 97.6% | 16.8% |
| 3 東京医科歯科大学歯学部 | 53 | 51 | 51 | 49 | 96.1% | 51 | 51 | 45 | 88.2% | -7.8% |
| 4 新潟大学歯学部 | 40 | 42 | 42 | 34 | 81.0% | 40 | 40 | 38 | 95.0% | 14.0% |
| 5 大阪大学歯学部 | 53 | 47 | 47 | 39 | 83.0% | 51 | 51 | 46 | 90.2% | 7.2% |
| 6 岡山大学歯学部 | 48 | 50 | 49 | 46 | 93.9% | 45 | 45 | 41 | 91.1% | -2.8% |
| 7 広島大学歯学部 | 53 | 50 | 50 | 44 | 88.0% | 54 | 54 | 48 | 88.9% | 0.9% |
| 8 徳島大学歯学部 | 40 | 45 | 45 | 38 | 84.4% | 37 | 37 | 32 | 86.5% | 2.0% |
| 9 九州大学歯学部 | 53 | 45 | 42 | 40 | 95.2% | 55 | 53 | 45 | 84.9% | -10.3% |
| 10 長崎大学歯学部 | 50 | 49 | 48 | 38 | 79.2% | 51 | 51 | 39 | 76.5% | -2.7% |
| 11 鹿児島大学歯学部 | 53 | 55 | 55 | 40 | 72.7% | 46 | 46 | 39 | 84.8% | 12.1% |
| 国立大学 計 | 549 | 541 | 536 | 456 | 85.1% | 519 | 517 | 457 | 88.4% | 3.3% |
| 12 九州歯科大学 | 95 | 91 | 90 | 81 | 90.0% | 92 | 92 | 76 | 82.6% | -7.4% |
| 公立大学 計 | 95 | 91 | 90 | 81 | 90.0% | 92 | 92 | 76 | 82.6% | -7.4% |
| 13 北海道医療大学歯学部 | 80 | 61 | 38 | 31 | 81.6% | 72 | 51 | 42 | 82.4% | 0.8% |
| 14 岩手医科大学歯学部 | 73 | 58 | 43 | 30 | 69.8% | 66 | 47 | 40 | 85.1% | 15.3% |
| 15 奥羽大学歯学部 | 100 | 34 | 25 | 9 | 36.0% | 45 | 35 | 18 | 51.4% | 15.4% |
| 16 明海大学歯学部 | 120 | 142 | 77 | 66 | 85.7% | 137 | 81 | 65 | 80.2% | -5.5% |
| 17 東京歯科大学 | 140 | 154 | 128 | 123 | 96.1% | 152 | 127 | 122 | 96.1% | 0.0% |
| 18 昭和大学歯学部 | 105 | 93 | 80 | 59 | 73.8% | 101 | 94 | 80 | 85.1% | 11.4% |
| 19 日本大学歯学部 | 130 | 128 | 121 | 86 | 71.1% | 121 | 109 | 67 | 61.5% | -9.6% |
| 20 日本大学松戸歯学部 | 130 | 141 | 97 | 58 | 59.8% | 150 | 89 | 69 | 77.5% | 17.7% |
| 21 日本歯科大学 | 160 | 156 | 117 | 76 | 65.0% | 155 | 103 | 76 | 73.8% | 8.8% |
| 22 日本歯科大学新潟生命歯学部 | 120 | 66 | 51 | 41 | 80.4% | 68 | 66 | 62 | 93.9% | 13.5% |
| 23 神奈川歯科大学 | 120 | 107 | 59 | 41 | 69.5% | 102 | 57 | 49 | 86.0% | 16.5% |
| 24 鶴見大学歯学部 | 120 | 83 | 53 | 39 | 73.6% | 82 | 56 | 40 | 71.4% | -2.2% |
| 25 松本歯科大学 | 120 | 105 | 76 | 58 | 76.3% | 116 | 91 | 69 | 75.8% | -0.5% |
| 26 朝日大学歯学部 | 140 | 156 | 100 | 72 | 72.0% | 127 | 95 | 70 | 73.7% | 1.7% |
| 27 愛知学院大学歯学部 | 125 | 134 | 97 | 75 | 77.3% | 99 | 83 | 63 | 75.9% | -1.4% |
| 28 大阪歯科大学 | 160 | 112 | 90 | 74 | 82.2% | 128 | 97 | 78 | 80.4% | -1.8% |
| 29 福岡歯科大学 | 120 | 103 | 50 | 29 | 58.0% | 115 | 105 | 44 | 41.9% | -16.1% |
| 私立大学 計 | 2,063 | 1,833 | 1,302 | 967 | 74.3% | 1,836 | 1,386 | 1,054 | 76.0% | 1.8% |
| - 認定及び予備試験 | - | 4 | 4 | 1 | 25.0% | 5 | 5 | 0 | 0.0% | -25.0% |
| 総合計 | 2,707 | 2,469 | 1,932 | 1,505 | 77.9% | 2,452 | 2,000 | 1,587 | 79.4% | 1.5% |

(出典：厚生労働省報道発表資料、文部科学省医学教育課調べ)

最低修業年限での歯科医師国家試験合格率

| No | 大学名 | 第112回（平成31年） | | |
|---------|------------|----------------|---|------------------------|
| | | H25年4月 入学者数 | 平成31年3月 新卒合格者数 (編入学者及び修業年限超過 がある学生を除く) | 最低修業年限での第112回 国試合格率 |
| 1 | 北海道大学 | 53 | 38 | 71.7% |
| 2 | 東北大学 | 54 | 35 | 64.8% |
| 3 | 東京医科歯科大学 | 54 | 35 | 64.8% |
| 4 | 新潟大学 | 40 | 33 | 82.5% |
| 5 | 大阪大学 | 53 | 38 | 71.7% |
| 6 | 岡山大学 | 48 | 36 | 75.0% |
| 7 | 広島大学 | 53 | 37 | 69.8% |
| 8 | 徳島大学 | 40 | 28 | 70.0% |
| 9 | 九州大学 | 54 | 37 | 68.5% |
| 10 | 長崎大学 | 50 | 34 | 68.0% |
| 11 | 鹿児島大学 | 53 | 39 | 73.6% |
| 国立大学合計 | | 552 | 390 | 70.7% |
| 12 | 九州歯科大学 | 95 | 67 | 70.5% |
| 公立大学合計 | | 95 | 67 | 70.5% |
| 13 | 北海道医療大学 | 53 | 28 | 52.8% |
| 14 | 岩手医科大学 | 59 | 33 | 55.9% |
| 15 | 奥羽大学 | 25 | 6 | 24.0% |
| 16 | 明海大学 | 120 | 53 | 44.2% |
| 17 | 東京歯科大学 | 128 | 89 | 69.5% |
| 18 | 昭和大学 | 98 | 66 | 67.3% |
| 19 | 日本大学 | 119 | 53 | 44.5% |
| 20 | 日本大学（松戸） | 129 | 56 | 43.4% |
| 21 | 日本歯科大学 | 128 | 62 | 48.4% |
| 22 | 日本歯科大学（新潟） | 81 | 36 | 44.4% |
| 23 | 神奈川歯科大学 | 58 | 26 | 44.8% |
| 24 | 鶴見大学 | 126 | 33 | 26.2% |
| 25 | 松本歯科大学 | 96 | 47 | 49.0% |
| 26 | 朝日大学 | 128 | 57 | 44.5% |
| 27 | 愛知学院大学 | 119 | 48 | 40.3% |
| 28 | 大阪歯科大学 | 127 | 66 | 52.0% |
| 29 | 福岡歯科大学 | 99 | 40 | 40.4% |
| 私立大学合計 | | 1693 | 799 | 47.2% |
| 国公立大学合計 | | 2340 | 1256 | 53.7% |

(文部科学省医学教育課調べ)

歯学部（歯学科）における留年・休学者の割合（※）

| 大学名 | | 令和元年度 | | | | | | |
|---------|------------|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 在籍学生総数に占める留年・休学者の割合 | 学年別内訳 | | | | | |
| | | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 6年次 |
| 1 | 北海道大学 | 11.8% | 2.3% | 10.5% | 8.0% | 4.3% | 19.6% | 23.1% |
| 2 | 東北大学 | 17.5% | 5.7% | 13.1% | 22.4% | 15.2% | 21.8% | 26.9% |
| 3 | 東京医科歯科大学 | 16.0% | 1.9% | 10.3% | 18.6% | 14.0% | 29.7% | 18.6% |
| 4 | 新潟大学 | 7.3% | 4.8% | 2.3% | 13.7% | 2.4% | 17.1% | 2.4% |
| 5 | 大阪大学 | 19.0% | 0.0% | 22.4% | 23.6% | 15.6% | 24.6% | 25.5% |
| 6 | 岡山大学 | 9.6% | 4.2% | 5.5% | 5.6% | 4.0% | 15.8% | 22.9% |
| 7 | 広島大学 | 20.7% | 10.5% | 14.3% | 27.4% | 24.0% | 25.0% | 23.1% |
| 8 | 徳島大学 | 18.3% | 7.0% | 21.4% | 17.9% | 23.3% | 15.8% | 23.9% |
| 9 | 九州大学 | 21.7% | 18.8% | 17.6% | 20.8% | 22.4% | 21.4% | 29.6% |
| 10 | 長崎大学 | 14.2% | 6.0% | 9.3% | 19.6% | 12.2% | 23.5% | 14.3% |
| 11 | 鹿児島大学 | 7.4% | 3.6% | 7.3% | 4.1% | 7.5% | 16.4% | 4.7% |
| 国立大学合計 | | 15.0% | 6.3% | 12.4% | 16.9% | 13.2% | 21.3% | 20.1% |
| 12 | 九州歯科大学 | 8.8% | 5.0% | 4.4% | 11.7% | 12.6% | 9.1% | 10.0% |
| 公立大学合計 | | 8.8% | 5.0% | 4.4% | 11.7% | 12.6% | 9.1% | 10.0% |
| 13 | 北海道医療大学 | 24.9% | 8.8% | 17.6% | 29.5% | 28.1% | 28.4% | 38.0% |
| 14 | 岩手医科大学 | 32.7% | 5.7% | 33.9% | 43.4% | 44.2% | 30.9% | 40.4% |
| 15 | 奥羽大学 | 19.4% | 6.4% | 11.1% | 10.9% | 28.7% | 14.7% | 39.0% |
| 16 | 明海大学 | 19.0% | 13.0% | 23.8% | 19.0% | 16.3% | 10.0% | 29.6% |
| 17 | 東京歯科大学 | 15.2% | 3.0% | 11.6% | 14.8% | 15.0% | 16.6% | 27.8% |
| 18 | 昭和大学 | 14.0% | 4.0% | 8.8% | 12.5% | 12.5% | 23.4% | 22.1% |
| 19 | 日本大学 | 26.4% | 12.9% | 27.1% | 22.2% | 31.6% | 29.5% | 35.7% |
| 20 | 日本大学（松戸） | 24.9% | 5.8% | 18.8% | 30.1% | 24.6% | 24.2% | 42.0% |
| 21 | 日本歯科大学 | 19.3% | 6.5% | 13.7% | 23.0% | 19.5% | 16.1% | 34.2% |
| 22 | 日本歯科大学（新潟） | 32.6% | 5.8% | 26.8% | 31.9% | 34.9% | 37.3% | 53.4% |
| 23 | 神奈川歯科大学 | 27.6% | 16.3% | 12.8% | 7.9% | 33.8% | 34.0% | 54.0% |
| 24 | 鶴見大学 | 36.8% | 10.0% | 27.5% | 44.0% | 45.0% | 37.6% | 47.4% |
| 25 | 松本歯科大学 | 28.9% | 15.2% | 30.3% | 22.8% | 32.9% | 34.1% | 38.7% |
| 26 | 朝日大学 | 25.9% | 12.3% | 18.8% | 16.9% | 31.9% | 33.1% | 41.8% |
| 27 | 愛知学院大学 | 31.7% | 13.3% | 25.7% | 33.1% | 39.7% | 33.1% | 47.4% |
| 28 | 大阪歯科大学 | 13.4% | 1.5% | 6.5% | 7.8% | 11.9% | 18.2% | 31.0% |
| 29 | 福岡歯科大学 | 19.3% | 16.7% | 11.7% | 19.1% | 25.2% | 15.7% | 25.5% |
| 私立大学合計 | | 23.5% | 9.5% | 18.7% | 21.9% | 26.7% | 25.2% | 37.9% |
| 国公立大学合計 | | 21.0% | 8.6% | 16.7% | 20.3% | 23.4% | 23.7% | 33.3% |

※ 在学中に一度でも留年・休学を経験した学生の割合

（文部科学省医学教育課調べ）

歯学系大学院の入学定員一覧（令和元年度）

（文部科学省医学教育課調べ）

▼博士課程（修業年限4年：博士（歯学）の学位を授与する専攻）

| 大学名 | 研究科等名 | 専攻名 | 入学定員 | 学位の名称 | 修業年限 | 14条特例 |
|------------|-----------|---------------------|------|--------------------------------|------|-------|
| 1 北海道大学 | 歯学院 | 口腔医学専攻 | 40 | 博士(歯学) | 4 | ○ |
| 2 東北大学 | 歯学研究科 | 歯科学専攻 | 42 | 博士(歯学) | 4 | ○ |
| 3 東京医科歯科大学 | 医歯学総合研究科 | 医歯学専攻 | 181 | 博士(医学)、博士(歯学)、博士(学術)、博士(数理医科学) | 4 | ○ |
| 4 新潟大学 | 医歯学総合研究科 | 口腔生命科学専攻 | 28 | 博士(歯学)、博士(学術) | 4 | ○ |
| 5 大阪大学 | 歯学研究科 | 口腔科学専攻 | 40 | 博士(歯学) | 4 | |
| 6 岡山大学 | 医歯薬学総合研究科 | 生体制御科学専攻 | 25 | 博士(歯学)、博士(学術) | 4 | ○ |
| | | 病態制御科学専攻 | 62 | 博士(歯学)、博士(学術) | 4 | ○ |
| | | 機能再生・再建科学専攻 | 28 | 博士(歯学)、博士(学術) | 4 | ○ |
| | | 社会環境生命科学専攻 | 13 | 博士(歯学)、博士(学術) | 4 | ○ |
| 7 広島大学 | 医系科学研究科 | 医歯薬学専攻 歯学専門プログラム | 27 | 博士(歯学)、博士(学術) | 4 | ○ |
| 8 徳島大学 | 口腔科学教育部 | 口腔科学専攻 | 18 | 博士(歯学)、博士(学術) | 4 | ○ |
| 9 九州大学 | 歯学府 | 歯学専攻 | 43 | 博士(歯学)、博士(臨床歯学)、博士(学術) | 4 | |
| 10 長崎大学 | 医歯薬学総合研究科 | 医療科学専攻 | 60 | 博士(歯学)、博士(学術)、博士(医学)、博士(薬学) | 4 | ○ |
| | | 新興感染症病態制御学系専攻 | 20 | 博士(歯学)、博士(学術)、博士(医学)、博士(薬学) | 4 | ○ |
| | | 放射線医療科学専攻 | 5 | 博士(歯学)、博士(学術)、博士(医学)、博士(薬学) | 4 | ○ |
| 11 鹿児島大学 | 医歯学総合研究科 | 健康科学専攻 | 18 | 博士(医学)、博士(歯学)、博士(学術) | 4 | ○ |
| | | 先進治療科学専攻 | 30 | 博士(医学)、博士(歯学)、博士(学術) | 4 | ○ |
| 国立大学 計 | | | 680 | | | |

| 大学名 | 研究科等名 | 専攻名 | 入学定員 | 学位の名称 | 修業年限 | 14条特例 |
|-----------|-------|------|------|--------|------|-------|
| 12 九州歯科大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 25 | 博士(歯学) | 4 | ○ |
| 公立大学 計 | | | 25 | | | |

| 大学名 | 研究科等名 | 専攻名 | 入学定員 | 学位の名称 | 修業年限 | 14条特例 |
|---------------|-----------|-----------------|------|------------------------|------|-------|
| 13 北海道医療大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | ○ |
| 14 岩手医科大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | ○ |
| 15 奥羽大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | |
| 16 明海大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | |
| 17 東京歯科大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 34 | 博士(歯学) | 4 | |
| 18 昭和大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | ○ |
| 19 日本大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 30 | 博士(歯学) | 4 | ○ |
| 20 日本大学(松戸) | 松戸歯学研究科 | 歯学専攻 | 30 | 博士(歯学) | 4 | |
| 21 日本歯科大学 | 生命歯学研究科 | 歯科基礎系専攻 | 9 | 博士(歯学) | 4 | |
| | | 歯科臨床系専攻 | 9 | 博士(歯学) | 4 | |
| 22 日本歯科大学(新潟) | 新潟生命歯学研究科 | 歯学専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | |
| 23 神奈川歯科大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | ○ |
| 24 鶴見大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | ○ |
| 25 松本歯科大学 | 歯学独立研究科 | 口腔疾患制御再建学専攻 | 18 | 博士(歯学)、博士(臨床歯学)、博士(学術) | 4 | ○ |
| 26 朝日大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | |
| 27 愛知学院大学 | 歯学研究科 | 歯科基礎系専攻・歯科臨床系専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | |
| 28 大阪歯科大学 | 歯学研究科 | 歯科基礎系専攻 | 12 | 博士(歯学) | 4 | |
| | | 歯科臨床系専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | |
| 29 福岡歯科大学 | 歯学研究科 | 歯学専攻 | 18 | 博士(歯学) | 4 | |
| 私立大学 計 | | | 358 | | | |

| | |
|----------|-------|
| 国公立大学 合計 | 1,063 |
|----------|-------|

▼博士課程（修業年限3年）、修士課程、博士後期課程、博士前期課程

| 大学名 | | 研究科等名 | 専攻名 | 入学定員 | 学位の名称 | 修業年限 | 14条特例 |
|--------|----------|-----------|------------------------------|------|---|------|-------|
| 1 | 東北大学 | 歯学研究科 | 歯科学専攻 | 6 | 修士(口腔科学) | 2 | ○ |
| 2 | 東京医科歯科大学 | 医歯学総合研究科 | 医歯理工保健学専攻 | 107 | 修士(医科学)、修士(歯科学)、修士(口腔保健学)、修士(理学)、修士(工学)、修士(保健学) | 2 | |
| | | | 医歯理工保健学専攻(医療管理学) | 5 | 修士(医療管理学) | 1 | ○ |
| | | | 医歯理工保健学専攻(医療政策学) | 10 | 修士(医療政策学) | 2 | ○ |
| | | | 医歯理工保健学専攻(グローバルヘルスリーダー養成コース) | 9 | 修士(グローバル健康医学) | 2 | |
| 3 | 新潟大学 | 医歯学総合研究科 | 口腔生命福祉学専攻 | 3 | 博士(口腔保健福祉学)、博士(学術) | 3 | ○ |
| | | | | 6 | 修士(口腔保健福祉学) | 2 | ○ |
| 4 | 岡山大学 | 医歯薬学総合研究科 | 歯科学専攻 | 20 | 修士(歯科学)、修士(学術) | 2 | ○ |
| 5 | 徳島大学 | 口腔科学教育部 | 口腔保健学専攻 | 2 | 博士(口腔保健学)、博士(学術) | 3 | ○ |
| | | | | 5 | 修士(口腔保健学) | 2 | ○ |
| 国立大学 計 | | | | 173 | | | |

| 大学名 | | 研究科等名 | 専攻名 | 入学定員 | 学位の名称 | 修業年限 | 14条特例 |
|--------|--------|-------|---------|------|-----------|------|-------|
| 6 | 九州歯科大学 | 歯学研究科 | 口腔保健学専攻 | 3 | 修士(口腔保健学) | 2 | ○ |
| 公立大学 計 | | | | 3 | | | |

| | | | | | | | |
|------------|--|--|--|-----|--|--|--|
| 国立・公立大学 合計 | | | | 176 | | | |
|------------|--|--|--|-----|--|--|--|

注) 14条特例とは、大学院設置基準第14条に定める夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる課程である。

○新卒者の大学別歯科医師国家試験（第112回（平成31年））合格者状況

| 学校名 | 平成25年度 入学者数及び 編入学者数※1 | 6年次 在籍者数※2 (H31.3.1現在) | 第112回（平成31年2月）合格者状況 | | | | 第111回（平成30年2月）合格者状況 | | | |
|------------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------|-------|-------|-------|---------------------|-------|-------|-------|
| | | | 出願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 | 出願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
| 1 北海道大学 | 53 | 48 | 48 | 48 | 44 | 91.7% | 55 | 55 | 46 | 83.6% |
| 2 東北大学 | 54 | 41 | 41 | 41 | 40 | 97.6% | 52 | 52 | 42 | 80.8% |
| 3 東京医科歯科大学 | 54 | 51 | 51 | 51 | 45 | 88.2% | 51 | 51 | 49 | 96.1% |
| 4 新潟大学 | 45 | 40 | 40 | 40 | 38 | 95.0% | 42 | 42 | 34 | 81.0% |
| 5 大阪大学 | 53 | 51 | 51 | 51 | 46 | 90.2% | 47 | 47 | 39 | 83.0% |
| 6 岡山大学 | 53 | 45 | 45 | 45 | 41 | 91.1% | 50 | 49 | 46 | 93.9% |
| 7 広島大学 | 53 | 54 | 54 | 54 | 48 | 88.9% | 50 | 50 | 44 | 88.0% |
| 8 徳島大学 | 43 | 43 | 37 | 37 | 32 | 86.5% | 45 | 45 | 38 | 84.4% |
| 9 九州大学 | 54 | 55 | 55 | 53 | 45 | 84.9% | 45 | 42 | 40 | 95.2% |
| 10 長崎大学 | 50 | 51 | 51 | 51 | 39 | 76.5% | 49 | 48 | 38 | 79.2% |
| 11 鹿児島大学 | 53 | 46 | 46 | 46 | 39 | 84.8% | 55 | 55 | 40 | 72.7% |
| 国立大学 計 | 565 | 525 | 519 | 517 | 457 | 88.4% | 541 | 536 | 456 | 85.1% |
| 12 九州歯科大学 | 95 | 93 | 92 | 92 | 76 | 82.6% | 91 | 90 | 81 | 90.0% |
| 公立大学 計 | 95 | 93 | 92 | 92 | 76 | 82.6% | 91 | 90 | 81 | 90.0% |
| 13 北海道医療大学 | 66 | 70 | 72 | 51 | 42 | 82.4% | 61 | 38 | 31 | 81.6% |
| 14 岩手医科大学 | 63 | 62 | 66 | 47 | 40 | 85.1% | 58 | 43 | 30 | 69.8% |
| 15 奥羽大学 | 52 | 46 | 45 | 35 | 18 | 51.4% | 34 | 25 | 9 | 36.0% |
| 16 明海大学 | 131 | 153 | 137 | 81 | 65 | 80.2% | 142 | 77 | 66 | 85.7% |
| 17 東京歯科大学 | 143 | 149 | 152 | 127 | 122 | 96.1% | 154 | 128 | 123 | 96.1% |
| 18 昭和大学 | 101 | 99 | 101 | 94 | 80 | 85.1% | 93 | 80 | 59 | 73.8% |
| 19 日本大学 | 123 | 119 | 121 | 109 | 67 | 61.5% | 128 | 121 | 86 | 71.1% |
| 20 日本大学松戸歯学部 | 133 | 152 | 150 | 89 | 69 | 77.5% | 141 | 97 | 58 | 59.8% |
| 21 日本歯科大学 | 137 | 173 | 155 | 103 | 76 | 73.8% | 156 | 117 | 76 | 65.0% |
| 22 日本歯科大学新潟生命歯学部 | 85 | 87 | 68 | 66 | 62 | 93.9% | 66 | 51 | 41 | 80.4% |
| 23 神奈川歯科大学 | 69 | 114 | 102 | 57 | 49 | 86.0% | 107 | 59 | 41 | 69.5% |
| 24 鶴見大学 | 134 | 96 | 82 | 56 | 40 | 71.4% | 83 | 53 | 39 | 73.6% |
| 25 松本歯科大学 | 130 | 114 | 116 | 91 | 69 | 75.8% | 105 | 76 | 58 | 76.3% |
| 26 朝日大学 | 134 | 128 | 127 | 95 | 70 | 73.7% | 156 | 100 | 72 | 72.0% |
| 27 愛知学院大学 | 121 | 124 | 99 | 83 | 63 | 75.9% | 134 | 97 | 75 | 77.3% |
| 28 大阪歯科大学 | 135 | 157 | 128 | 97 | 78 | 80.4% | 112 | 90 | 74 | 82.2% |
| 29 福岡歯科大学 | 101 | 115 | 115 | 105 | 44 | 41.9% | 103 | 50 | 29 | 58.0% |
| 私立大学 計 | 1,858 | 1,958 | 1,836 | 1,386 | 1,054 | 76.0% | 1,833 | 1,302 | 967 | 74.3% |
| - 認定及び予備試験 | - | - | 5 | 5 | 0 | 0.0% | 4 | 4 | 1 | 25.0% |
| 総合計 | 2,518 | 2,576 | 2,452 | 2,000 | 1,587 | 79.4% | 2,469 | 1,932 | 1,505 | 77.9% |

※1：平成25年4月入学者と同学年となる平成26年度2年次編入学者、平成27年度3年次編入学者などを含む。

※2：平成24年度以前の入学者（留年者等）を含む。

（出典：厚生労働省報道発表資料、文部科学省医学教育課調べ）

歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議について

（令和元年10月21日
高等教育局長決定）

1. 目的

大学の歯学教育の改善・充実に向け、専門的事項について調査研究を行い、必要に応じて報告を取りまとめる。

2. 調査研究事項

- (1) 歯科医師として必要な臨床能力の確保について
- (2) 優れた歯科医師を養成する体系的な歯学教育の実施について
- (3) 歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者の確保について
- (4) 未来の歯科医療を拓く研究者の養成について
- (5) その他

3. 会議の構成等

- (1) 会議の構成は別紙のとおりとする。
- (2) 必要に応じ、構成委員以外の者からの協力を求めることができるものとする。

4. 設置期間

令和元年11月1日から令和2年3月31日までとする。

5. その他

本会議に関する庶務は、高等教育局医学教育課において処理する。

歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議委員名簿

※ 五十音順（敬称略）

| | | |
|------------|------------|--|
| えとう 江藤 | かずひろ 一洋 | 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構副理事長 東京医科歯科大学名誉教授 |
| かさい 葛西 | かずたか 一貴 | 日本大学松戸歯学部教授 |
| かわぞえ 川添 | たかよし 堯彬 | 大阪歯科大学理事長・学長 |
| さいとう 斎藤 | たかし 隆史 | 北海道医療大学歯学部教授 |
| にしはら 西原 | たつじ 達次 | 九州歯科大学理事長・学長 |
| にった 新田 | ひろし 浩 | 東京医科歯科大学歯学部教授 |
| はとり 羽鳥 | ゆたか 裕 | 公益社団法人日本医師会常任理事 |
| まえだ 前田 | たけやす 健康 | 新潟大学歯学部長 |
| みうら 三浦 | ひろゆき 廣行 | 岩手医科大学副学長・歯学部長 日本私立歯科大学協会会長 |
| やながわ 柳川 | ただひろ 忠廣 | 公益社団法人日本歯科医師会副会長 |
| やまぐち 山口 | いくこ 育子 | NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長 |

計 11 名

〈オブザーバー〉

| | | |
|-----------|------------|----------------|
| たぐち 田口 | のぶひろ 円裕 | 厚生労働省医政局歯科保健課長 |
|-----------|------------|----------------|

（令和元年10月21日 現在）